



此は神田の八丁のり
 ずし屋の主人のり
 天竺若人のり
 いふすのり
 此は神田の八丁のり
 ずし屋の主人のり
 天竺若人のり
 いふすのり

源頼光手早物語

初日正月二日
 一設物
 ありてもつとらねがらぬ
 ありてもつとらねがらぬ



ありてもつとらねがらぬ
 ありてもつとらねがらぬ
 ありてもつとらねがらぬ

へ13
 2997

へ13
 2946
 90

昭和九年
 七月二日
 東京



のんやうの
 時の色おほ
 のれおとの
 されどお
 れえいか
 高自交
 つまは
 何と
 かし
 まらう
 あゆしう
 いろたの
 かしらあり



三とん
 仙竹吾八
 藤井佐太郎
 藤井雙郎
 吉川平次
 吉田三吉
 千秋
 万葉
 大叶
 口上
 藤井三郎



けしうの
 人皇の
 中しんの
 年とく
 んとく
 かく王
 とく
 とく
 何と
 かし
 まらう
 あゆしう
 いろたの
 かしらあり

まいき



豊竹場 大夫
 豊竹御代 大夫
 野沢長次郎

連

人形役割
 藤井三郎
 藤井佐太郎
 藤井雙郎
 吉川平次
 吉田三吉
 千秋
 万葉
 大叶
 口上
 藤井三郎



そのまゝに
とほろろと
あつと
ひびく
そのまゝに
とほろろと
あつと
ひびく
そのまゝに
とほろろと
あつと
ひびく



そのまゝに
とほろろと
あつと
ひびく
そのまゝに
とほろろと
あつと
ひびく
そのまゝに
とほろろと
あつと
ひびく

大目



又
 坐老
 人かひ
 中うをん
 おとつさ
 ねえんけ
 かまきん
 海村相なり
 せりうくち
 せねまよあ
 まれえん田の
 りんまよも
 とつうのち
 ねがんと
 うきさ
 がる

まのらどく
 人やくし
 ちかちつ
 又そち
 ともいへ
 かひや
 るんち
 まるめ
 大あち
 とらなる



まをさてい

まのらあ
 めんを
 ひつ
 ころの
 ようり
 とあ
 ちち
 あち
 いら
 ちた
 のこ
 そら
 がこ
 おの
 とあ
 てふ
 まの
 のち
 より
 とこ
 ちと
 わく
 ちと
 とら
 とま
 とま

